

本県の前文(案)の構成

冒頭の一文	長野県の発展の原動力は、進取の気性に富み、企業家精神に溢れる中小企業である。
① 県の特徴 (自然、歴史、風土等)	<p>本県は、美しく豊かな自然環境や、先人の努力の賜である健康長寿に恵まれ、古より教育を大切にする風土や、勤勉な県民性など、様々な強みを有している。</p> <p>その中であって、本県の基幹産業は、明治期の製糸工業から、戦前・戦後期には精密機械工業へ、その後、情報通信機器や電子部品などの加工組立型産業、さらに現在は自動車産業の電装化分野への展開へと、巧みに構造転換を遂げつつ大きく発展してきた。</p>
② 中小企業の役割・意義	<p>この発展を支えたのは、時代の変化をいち早く察知し、旺盛な企業家精神をもって果敢に挑戦する中小企業であり、独自の技術を生み出し、絶えず競争力を高め、本県経済の発展に貢献してきた。</p> <p>本県の中小企業は、基幹となる製造業をはじめ、豊かな観光資源を活かした観光業、地域の暮らしに密着した商業・サービス業、地域に根ざし地域を守る建設業、その他の様々な産業が、それぞれの分野で、重要な役割を果たしてきている。</p> <p>そして、優れた製品やサービスを提供し、地元の雇用を生み出し、地域経済を支え、地域の人々の暮らしと伝統文化を守ってきた。</p>
④ 社会情勢の変化等	今、大きな社会経済情勢の変化の中で、
⑤ 必要な取組・施策等	<p>本県の中小企業は、これまで培ってきた独自の技術をもとに、進取の気性を発揮して、新たな成長分野へ切り込んでいくことが求められている。さらに、付加価値の高い産業の構築に向け、果敢に挑戦していくことが期待されている。</p> <p>このような困難な時代にあっても、本県には、脈々と受け継がれる企業家精神と、それを支える地域の力があるため、常に時代の変化に柔軟に対応し、果敢に挑戦していくことができる。</p> <p>今こそ、県はもちろん、中小企業に関係するすべての団体・機関、そして県民が互いに手を取り合い、中小企業の挑戦を応援していくことが必要とされているのである。</p> <p>中小企業の挑戦の軌跡や成功の物語は、未来を担う子供たちに、夢や生きる指針を与えるに違いない。</p> <p>そして、中小企業のさらなる発展の先には、若者から高齢者まで、女性も男性も、全ての県民が一人ひとりの能力を発揮し、働き続けることができる社会や、様々な創意工夫と取組の中から、地域社会の課題解決を目的としたソーシャルビジネスや、NPO 等多様な主体との協働など、新しい社会貢献の形も生まれてくることを期待できる。</p>
⑥ 条例制定の目的・宣言	ここに、明日への希望を持ち、中小企業のさらなる発展をめざして、中小企業のための条例を制定する。